

一般質問

町田一中改築工事の早期実現を

とのむら健一市議は、オスプレイの危険な飛行を中止するよう町田市の積極的取り組みをただしたのに続き、築52年が経つ町田一中校舎の早期建替えについて質問しました。学校教育部長は、「老朽化や構造問題など、早期建替えが必要だ。校庭の代替地確保を含め対応する」と答弁。くじら山の緑と湧水を生かしたまちづくりは住民合意を大切にしたい対応を求めた質問に、「“宅開条例”の協議の中で、安全確保、住民の意見が反映できるよう取り組む」と答弁しました。



とのむら健一
TEL (793) 5458

要支援者もこれまでと同じサービスを

細野りゅう子市議は、2016年からの介護保険の改定後、町田市独自で行うことになる要支援者の介護サービスを維持するよう求めました。担当部長は「サービスの質はこれまでと変わりません。」と答弁。また改定後の保険料が基準額で月6200円程度で検討しているとの答弁に保険料の引き下げと減免制度を求めました。また小学校の給食調理の民間委託化によって、懸念される安全性や食育の位置づけを守るよう求めるとともに、町田の給食を守るために自校直営校を計画より増やすよう求めました。



細野りゅう子
TEL (796) 8163

大雨・土砂災害対策を求めて

佐々木とも子市議は、大雨による浸水や土砂災害から住民の安全を守ることを求めて質問。豪雨対策では河川管理者の東京都と連携し、市有地を活用した調節池(一時的に川の水を溜める池)の整備や、毎時65ミリ降雨に対応した雨水管整備等を玉川学園地区などで予定していると下水道部長が答えました。また土砂災害危険区域をハザードマップで市民に周知徹底し、避難所やどう行動するかなどを早めに情報発信するよう求めました。



佐々木とも子
TEL (793) 4137

リニア中央新幹線は生活に影響大

池川友一市議は、リニア中央新幹線が市民に与える影響について質問。非常口周辺では大量の土砂搬出により、交通量の増加、騒音・振動をはじめ、住環境に大きな影響があります。また、土壌汚染対策法に定める基準を超える土壌汚染(ヒ素など)への不安があることを取り上げ、市として対応を求めたところ、「影響を減らすように求めていく」と答弁がありました。リニア中央新幹線計画は、その他にも環境問題、安全対策、財政問題など大きな懸念があり、拙速な工事着工はやめるべきです。



池川友一
TEL (734) 1116

小山中央小学校の通学路の安全対策を

わたばさとし市議は、4項目について一般質問を行いました。広報まちだの全世帯配布を求めて質問。「拠点配布の拡大で対応する」との答弁でした。都宮木曾森野住宅の坂道対策について質問。具体的な解決策としてまちっこバスの延伸を提案しました。小山中央小学校の通学路の安全を求めて質問。「車歩分離信号については警察に相談してみる」との答弁でした。町田市非核平和都市宣言に基づく町田市の取り組みについて質問。広島・長崎への市民代表派遣を復活すべきと求めました。



わたばさとし
TEL (810) 3229

党市議団提出

シルバーパス改善の意見書可決

日本共産党市議団が提出した「シルバーパスの改善を求める意見書」(①シルバーパスの料金を所得に応じて軽減、②都県境での使用可能にする)が、共産党、自民党、まちだ市民クラブの賛成で可決されました。

70歳以上の高齢者が気軽に外出するために無料で公共交通を利用できるように作られたシルバーパスは、かつて無料でしたが、2000年から住民税非課税の方は1000円、それ以外の方は2万510円になっていました。利用率47.7%と低く、特に一挙に跳ね上がる2万510円の料金については、3000円や5000円など収入に応じてもっと低額な段階を設定してほしいと切望されていました。意見書の可決を力に、負担軽減を実現させるために奮闘します。



日本軍「慰安婦」問題 歴史の真実に向き合った解決を

9月議会最終日、保守連合と自民党の議員から「朝日新聞に対し『慰安婦報道』に関する誤報についての謝罪と国連の人権に関する機関等への訂正を求める決議」が提案され、自民党、保守連合、まちだ市民クラブの一部の賛成で可決されました。日本共産党は討論をおこない、反対しました。決議が求められるように、誤報について朝日新聞が謝罪し、国連に訂正しても、日本軍「慰安婦」問題を歴史から消し去ることはできません。なぜなら1993年8月、政府見解としてまとめられた「河野談話」の詳細な検証の際には、朝日新聞が取り消した「吉田証言」は採用されていないのです。日本軍「慰安婦」問題は、日本の侵略戦争と植民地支配のもとで、日本軍の管理下に置かれた慰安所で女性たちが自由を奪われ、強制的に兵士の性の相手をさせられたという事実そのものにあります。「河野談話」はその事実を認め、「痛切な反省」と「心からのお詫び」を表明し、その後の歴代政府に継承されてきました。今年10月24、25日にソウルで行われた日韓議員連盟総会(額賀会長)において、「河野談話」「村山談話」を継承することを再確認するとともに、両国議員連が談話にふさわしい行動をとること、「慰安婦」被害者の名誉回復と心の痛みを癒す措置が早急にとられること、二項目が明記された「共同声明」が全会一致で採択されました。日本がアジアから信頼される国になり、「慰安婦」問題を解決するためにも、歴史の真実に向き合い、誠実に行動することこそ求められています。日本共産党は、日本軍「慰安婦」問題について検証し、2014年3月14日「歴史の偽造は許されない」「河野談話」と日本軍「慰安婦」問題の真実」を9月27日「歴史を偽造するものは誰か」を発表しています。参照ください。

忠生市民センターから 保育室が消える!?

忠生市民センターの建て替えに伴い新しい料金設定などの条例が市長から提案されました。町田市内の市民センターや地域センターでは、子育て中の人でも講座や会合に参加できるように「保育室」の利用を条例上保障してきました。

ところが、忠生市民センターには条例上「保育室」の文字がなく、不特定多数が利用するキッズスペースで代替しようというのです。市内の市民センターやコミュニティセンターで認められている「保育室」を忠生市民センターだけでなくすることは不正常な状態です。

これらの趣旨を踏まえて、日本共産党市議団は条例の中に「保育室」を明記した修正案を提案。日本共産党とまちだ市民クラブは賛成しましたが、反対多数で否決となり、市長提案が可決されました。引き続き忠生市民センターを使用する方々にとって不便にならないよう求めていきます。



建設中の忠生市民センター

忠生市民センターの建て替えに伴い新しい料金設定などの条例が市長から提案

お気軽に 無料法律相談

11月12日(水)・26日(水)
12月10日(水)・24日(水)

予約が必要です TEL 042(723)6312

いずれも
午後2時から

場所:市役所3階
日本共産党
会派室

生活相談は随時
お受けしています